

中尊寺・栗駒山

2011年10月8・9日
リーダー:豊島泰/佐藤きよみ



まことのみんなのさいわいのため～栗駒山行について～

●2007年(平成19年)秋 会長から、栗駒の紅葉は日本でも一二の素晴らしさといわれ、その山行リーダーを 任されたが、宿の手配は9月に入つてからで、当然どこも取れずにボツとなる。この年この時期、秋田で国体が開催されていたので、その為であると思いたい。

●2008年(平成20年) この年は会長の地縁ネットワークにより須川温泉ホテルを1月早々に予約。2年越しの「栗駒山行」実施かと思っていたら、6月14日、岩手・宮城内陸地震が発災。今回泊まった「くりこま荘」から僅かに下つた「駒の湯」も土石流に流され、主要道路も寸断され山行中止を余儀なくされた。

●2011年(平成23年)3月11日 東北地方太平洋沖地震。この翌々日予定の3月例会「越生・大高取山」は中止。頻発する余震によりその後の例会に付いて開催が危ぶまれたが、4月担当のきよみリーダーの決断による例会再会で現在に至り、今回の「栗駒山行」の実施となりました。3度目の正直というべきでしょうか。

我々の東北への山旅が、いか程に被災地への貢献となったかは 定かではありませんが、東北の自然は最高の天気で迎えてくれました。日本一の紅葉と詠われる見渡す限りの赤や黄色の山裾と、どこまでも青い空。誰もが最高でした!と答える「須川温泉」の少し熱めのかけ流しの湯。この素晴らしい自然が一

方で、現在も大きな困難をたくさんの人々に与え続けて いるのもまた現実。なんとむごい、しかしそれでも自然是自然。自然の中に 生かされている人と人どうしが助け合い、支えあうしかありません。岩手の詩人の蠍の寓話からタイトルをいただきました。もう一度読み返して みたいと思います。旅の最後は酔いつぶれてサブのきよみさんにはご苦労かけましたが 春日部まで何事もなく無事帰つて来れてほつとしています。長い道中、参加の皆さんには様々な協力いただきました。一回3万円の講演料を、無料(ただ)で行なってくれた奥の細道・まつおさん。

過分な差し入れありがとう。秋田の土井さん。平泉文化のレクチャーいただきました、戸邊さん。つなみの鳴原さん。痛風の小倉さん。神社仏閣には、(流石ですね!詳しい)藤井さん。骨折のゆり子さん。木幡さんと同行二人(どうぎょうにん)の西谷さん。オカリナの、音色美し、やえこさん。準備万端。サラ川柳(せんりゅう)のやえこさん。みんなの知的レベルにフィットしたなぞなぞで大笑いでした、ちなさん。会計さんや他の皆さんへも、あらためて御礼申し上げます。

ありがとうございました。 《担当リーダー豊島 泰》



10月山行(栗駒山)に参加して

今回は10月の3連休の前2日（8日・9日）を使っての一泊山行。今年6月に世界文化遺産に登録された平泉を見学してから栗駒山を登るスケジュールです。初日は、平泉の見学です。お昼頃に着いたので、まずはお昼を食べました。農家茶屋というお店で新米天丼を食べました。ビールを注文したら、冷えたビールを切らしているということで、お餅膳をサービスしてくれました。あんこ、ずんだ、ごま、雑煮の名物のお餅も食べることができラッキーでした。ビールはと云うと、藤井さんが外まで買いに行ってくれて飲むことができました。おまけにお店の娘さんと記念写真まで撮ってしまいました。昼食後はいよいよ中尊寺見学です。平泉文化について事前に学習していたことと伊藤会長のガイドで非常にためになった見学でした。坂道の左右に寺や堂が沢山あり、弁慶堂、中尊寺本堂、金色堂、覆堂など伊藤会長のガイド付きで回りました。中でも金色堂と覆堂の話が印象に残りました。今から約9百年も前の藤原文化に触れたり、それから5百年後に訪れた芭蕉に思いをめぐらせたり、歴史の勉強になりました。

平泉見学を終えて次に向かった先は宿泊先の「くりこま荘」です。

「くりこま荘」に着くと直に温泉に入りました。内湯と外湯があり、外湯の温度がやや温めで、景色も良かったので外湯にのんびりと浸かりました。夕食までの間は部屋でお酒を飲みながら皆と歓談し、夕食は全員で戴きました。岩魚のさしみと味噌焼き、山菜など山の宿らしい食材で美味しく戴きました。お酒も十分飲みました。翌朝は温泉に浸かって、「くりこま荘」の前で集合写真を撮って、6時に出発しました。バスでイワカガミ平まで行き、6時半に東栗駒コースを登り始めました。しばらくは、ぬかるんだ道が続き、靴やズボンの裾は泥だらけになりました。もういい加減にして欲しいと思った頃、山の景色が眺められる程の高さにきて足元もよくなり、山の景色が見えるようになりました。最初に広い山肌に広がる紅葉を見たときは驚きました。私がこれまでに見た紅葉と違っていたからです。とにかく色が鮮やかで、しかも紅葉の範囲が広いので驚きました。木の背丈が低く、種類が多いので赤、黄、



緑が混ざっていて色々な模様を描いておりました。それから雲一つない晴天でしたので、陽のあたっている場所は色鮮やかに輝き、また影の部分もあり、変化に富んだ景色を堪能できました。紅葉を堪能しながら、東栗駒山を経由して栗駒山の山頂へと登って行きました。山頂で集合写真を撮って天狗平を通って須川コースで下山しました。下山ルートの方が紅葉の色が少し濃く感じられました。下山の際も途中から、ぬかるんだ道が須川温泉まで続きましたが、下りの方が上りに比べれば楽で、時間も短時間で済みました。ゴール地点の須川温泉で硫黄温泉の露天風呂に浸かり、蕎麦を食べ、ビールを飲んでめました。3時に須川温泉を出発して帰りの途に着いたところ、これから須川温泉に向かう車の長蛇の列には驚きました。栗駒山の紅葉の人気と晴天のせいでしょう。今日の登山者の多かったこと、山頂付近を報道のヘリコプターが飛び回っていたことも思い出されます。最後に、岩手は遠いなーと感じました。千間台に戻ってきたのは10時半です。いつものように駅前で反省会（今回は男3人だけ）を行ってから家に着いたら11時を過ぎておりました。でも最高に楽しい山行でした。また行きたいです。豊島リーダーはじめ皆様、今回ありがとうございました。《戸邊茂雄》

陽のあたり 具合で変化する紅葉

紅葉の 模様を創る 樹の種類

草紅葉 陽に照らされて 輝けり

山紅葉 方位で色が 違いり

ナナカマド 葉のない枝に 真っ赤な実



10月山行「平泉・栗駒」 感想

期待していた栗駒の山行日である。今日は全国的に天気が良いそうで、絶好の紅葉日和かとバスに乗り込んだ、泊まりの山行は久しぶりで、今日は平泉中尊寺見物で気分も楽、車内では、前会員の土井さんの差し入れでビールなどが配られた。（心の中でお礼する後で手紙出そうかなと）車内ガイドで伊藤会長の「東北と私」のお話はいつもながらの味があるレクチャーをいただきました。戸邊さんの資料も前知識に役立ちました。中尊寺に着くとだいぶ以前に来た時とレストハウスや駐車場付近は変わっていたが蕎麦屋など目を向けておいた店に昼は数人で入るが冷えたビールがなくてと店のおごりで名物だんごもちをいただいた。中尊寺はRC造覆堂内に金色堂がガラスケースの中に鎮座、金箔がまばゆくこれが鎌倉時代とはおもえない修復で保存されている。むしろ旧覆堂のほうが昔の建築技術を残していた。時間もないでと、一路ぐりこま荘へ向かう。途中山崩れの箇所が数箇所目に付いた。夕食時間の前に散歩がてら、下のほうに地震当時被害のあった温泉宿の跡へ行き、慰靈碑におまいりした。くりこま荘の温泉は大変わびのある風情で湯もよくて久々気に入った。山宿の食事も満足で遊友仲間の宴会は始めての経験、翌日に英気を養いました。栗駒山は、思っていた通りのみごとな紅葉で登るほどに赤・黄の葉の展開で、撮りたいところが豊富すぎてシャッター泣かせできりがありません。100枚以上とってしまった。久しぶりに紅葉の山で満足し下山し



たくない思いに駆られたほどでした。下った須川温泉では露天の硫黄の白濁した熱い湯につかり、ビールに蕎麦を食べ満足して帰路につきました。途中、道路の橋げたの崩壊場所は地震災害記念になって残されていて大自然の猛威跡に圧倒される。いろいろな思いを胸に残し、館山さんの運転するバスは順調でしたが、東北は遠くて、車内の揺れの時間に飲み疲れ気味になりました。リーダーさんご苦労様でした。

《藤井 一義》

12月の山行案内 戸神山 771.7m

林道高王山線の終点駐車場から高王山、戸神山頂上へ延びるルートのほか、発知新田町のニュースポーツ広場や石墨町とを結ぶコースなど、整備延長が約5キロメートルとなります。この遊歩道を散策すると、小鳥たちのさえずりが聞こえます。(沼田市ホームページより)

日 時：23年12月4日(日)

場 所：「戸神山」(群馬県沼田市)

集 合：せんげん台6:15分、春日部6:30分
いつもの集合場所

参 加 者：21名(11月14日現在)

その他：望郷の湯で入浴、時間があれば
リンゴ園に寄りたいと思います。

エントリー者以外の申し込み：

佐藤きよみまで(090-6163-3614)



三角山とも呼ばれる戸神山▲

遊友ハイキングクラブ総会のご案内

遊友ハイキングクラブの総会を下記のとおり開催します。
 年も押し迫って、お忙しいことと思いますが、当会にとって大切な会合です。
 万障お繰り合わせの上、是非ともご参加をお願い致します。
 つきましては、総会参加の出欠を取りたいと思います。
 よろしくお願い致します。

- 日時：12月17日(土) 19時より
- 場所：春日部商工振興センター(アクシス春日部)2階202号室
- 議題：2012年山行計画、会計・予算、役員選出、その他
 ※当日、小さな忘年会を予定しています。
- 出欠は12月4日(日)までに下記のいずれかを表明して下さい。
 1. 参加
 2. 不参加
 3. 退会するので不参加

上記の総会の出欠はいずれかの方法でご連絡をお願い致します。
 総会案内のメールの返信で。

電話で連絡(伊藤 松雄 048-763-4470)

12月4日戸神山山行の時に口頭で。

書面にて(埼玉県 春日部市 梅田1-1-8 602号 伊藤 松雄)

